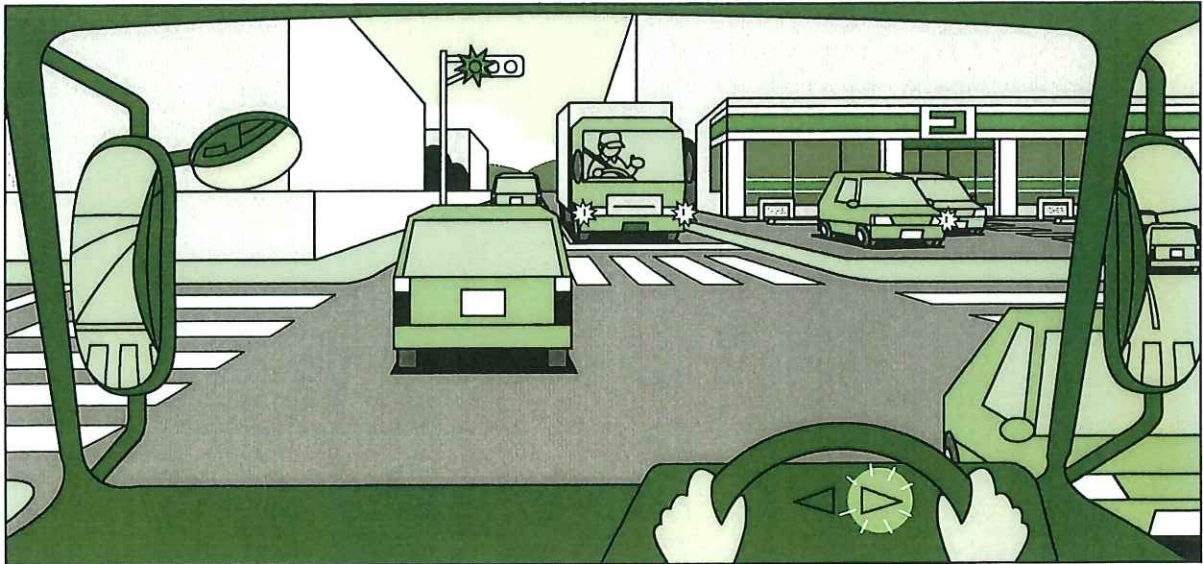


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 169 回〕「道を譲ってもらった際の信号交差点の右折」

状況

右折のため一時停止していたところ、対向車線のトラックが「どうぞ」と合図しました。また交差点のコンビニエンスストアから出ようとする車があります。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



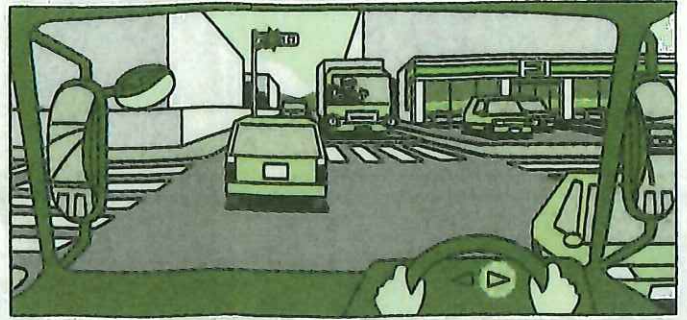
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

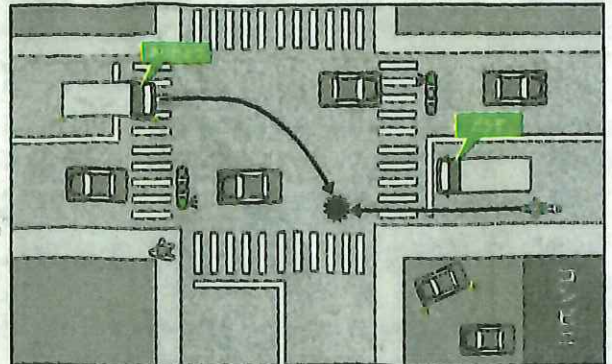
右折のため一時停止していたところ、対向車線のトラックが「どうぞ」と合図しました。また交差点のコンビニエンスストアから出ようとする車があります。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



○ どのような危険がありますか？

- ① 対向車の側方を走行してきた二輪車と衝突する危険があります(図1)。
- ② 右後方から横断歩道を横断してきた歩行者等を見落とし衝突する危険があります(図2)。
- ③ コンビニの駐車場から車道に出てきた車と衝突する危険があります(図3)。

図1



▶ どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ① この場面では対向車線のトラックが「お先にどうぞ」と合図をしていますが、「譲られたので早く右折しよう」と慌てて右折すると、死角になっているトラックの側方を走行してきた二輪車と衝突する危険があります(サンキュー事故)。右折時に対向車線の車に道を譲られた時は、「早く右折しなければ」という気持ちを抑えて、譲ってくれた車の側方から二輪車などが接近していないか、しっかり確認した上で右折しましょう。また、二輪車の速度は見誤りやすいので、接近を確認した場合は二輪車を先に行かせましょう。
- ② 右折時は、右後方から進行してくる歩行者等を見落としがちになります。この場面では、横断歩道の右側からの歩行者等は見えていませんが、「見えていない＝危険はない」と油断して安易に右折すると、右後方からの歩行者や自転車を見落とし衝突する危険があります。右折の際には、しっかり右後方に目を向けて、安全を確認して慎重に運転しましょう。
- ③ この場面では、コンビニの駐車場から合図を出して、駐車場から車道に出ようとしている車があります。道路側の信号は赤であることから、そのまま車道に出てくることが予測できます。対向車や横断歩道周辺のみには注意が偏ると、駐車場の車の動きを見落としてしまい、右折先で衝突する危険があります。交差点の角にコンビニなどの道路外施設

図2

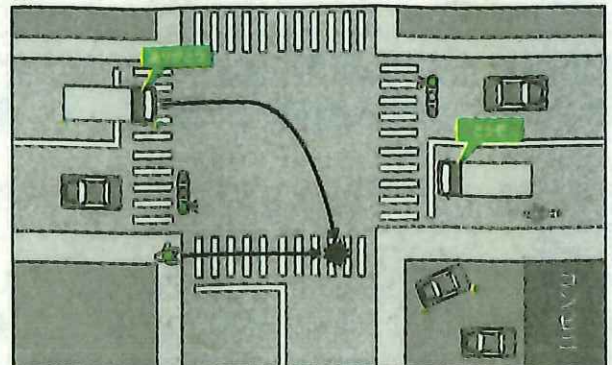
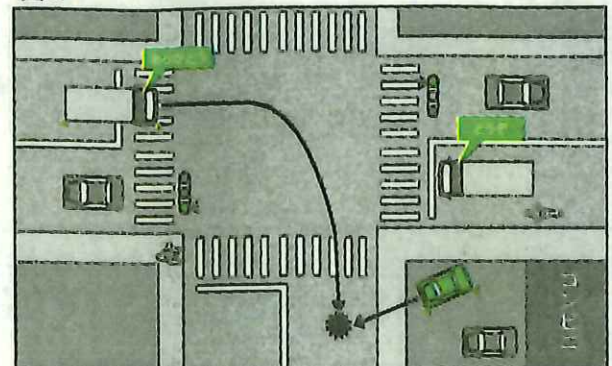


図3



がある場合は、その駐車場の車の動きにも注意を払いましょう。右折時は安全確認のポイントが多いため、より慎重な運転を心がけてください。